

令和2年度 行政評価表

所属部	計画まちづくり部	所属課	建築住宅課	正職員数	18人	その他職員数	3人	電話番号 (内線)	055-983-2639 (内線2434)
-----	----------	-----	-------	------	-----	--------	----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅱ 活力のある住みやすいまち
	基本方針	4 都市機能の整ったまちづくり
	施策名	26 良質な住環境の形成<住環境>

年度	H28	H29	H30	R01	R02
予算額 (千円)	233,363	461,331	494,624	181,042	432,576
決算額 (千円)	232,390	454,150	492,154	174,904	427,007
決算額の内 線越明許分	-	-	-		

※人件費、一般諸経費、交際費、積立金、繰出金、出資金及び公債費は含まれておりません。
 ※予算費目表に再掲で表示されている事業は、再掲元の予算費目及び総括表に予算額及び決算額を記載しています。
 ※赤字：補正・流用により当初予算額から変更した予算額
 ※繰越明許：年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、議会の議決を得て翌年度に繰越して使用するもの。
 予算要求年度に予算額を、実執行年度に決算額及び繰越明許額を記載。

所管する施策の 方向一覧	Ⅱ-4-26-(1)総合的な住宅施策の推進
	Ⅱ-4-26-(2)市営住宅の維持・管理
	Ⅱ-4-26-(3)高齢者・子育て世帯への住宅支援
	Ⅱ-4-26-(4)住宅取得や住宅管理における安心確保

成果指標 【行政改革大綱における取 組事項名】	指標計算式(指標の説明)	年度	H28	H29	H30	R01	R02
空き家情報の共有化【37 空 き家等の情報の共有】	空家等の情報処理	目標	データベースの構築 情報の共有化	情報の共有化	情報の共有化	情報の共有化	情報の共有化
		実績	データベースの構築 情報の共有化	情報の共有化	情報の共有化	情報の共有化	情報の共有化
		進捗状況	順調	順調	順調	順調	達成
住むなら三島移住サポート 事業を利用して三島市に移 住した世帯数【75 『すむ』ま ち三島プロジェクトの実施】	県外からの移住11世帯、市 外からの移住60世帯、移住 者数176人	目標	71世帯(176人)	142世帯(352人)	213世帯(528人)	284世帯(704人)	355世帯(880人)
		実績	30世帯(98人)	178世帯(582人)	294世帯(961人)	340世帯(1109人)	394世帯(1,281人)
		進捗状況	遅れ	順調	順調	順調	達成
情報提供した中古一戸建て 住宅の件数	住宅診断(インスペクショ ン)した物件情報を、市のホ ムページに掲載した件数	目標	20件	20件	20件	20件	20件
		実績	6件	8件	9件	5件	6件
		進捗状況	遅れ	遅れ	遅れ	遅れ	未達成
		目標					
		実績					
		進捗状況					

施策の方向	Ⅱ-4-26-(1)総合的な住宅施策の推進
-------	-----------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	市民等から寄せられる適切に管理されない「空家等」の相談は、防災・景観・衛生等、様々な問題が存在し、その対応は、現在、関係各課が所管する法令等により個々に実施しているが、その「空家等」に対する情報と「空家等実態調査」により得られた情報を庁内で共有することで「空家等」へ一元的に対応する。 また、空家等所有者が抱える問題の対応には、専門性が必要となることがある為、専門家団体と締結した協定を基に専門家と連携して取り組む。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	【37 空き家等の情報の共有】 平成27年度に実施した空家等実態調査によって得られた情報と関係各課で個別で作成している情報を庁内ネットワークに導入するための実務的な協議を空家対策関係各課と情報管理担当課と実施する。

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	市民等から寄せられた物件情報・相談内容等のデータベース構築 空き家の有効活用リサーチ業務等により専門家団体と情報を共有し、空家等の適正管理や利活用の促進を図る
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	市民等から寄せられた物件情報・相談内容等のデータベース構築

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	『空き家の適正管理等支援可能性調査』について、当初、市が事業主体となり国の補助を受けて事業を実施する予定であったが、民間事業者が事業主体となり事業を実施することとなったため、市が予算執行する必要がなくなったが、民間事業者と自治会及び市が連携し、住民に対し空き家に関する研修会の実施や個別の相談会、空き家ガイドの作成などを実施することができ、空き家問題を所有者のみの問題ではなく「身近な地域コミュニティの問題」として認識し、所有者等と地域住民(自治会)が連携し問題を解決する仕組みを構築することができた。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	住民等から寄せられる空き家の問題を解決し適正管理に誘導することが、良質な住環境の形成に繋がることから、来年度も引き続き空き家の発生防止に向けた取組や空き家の適正管理を誘導すると取組を行っていく。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績						今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組
			年度	H28	H29	H30	R01	R02		
1 空家等の情報の共有 【行革取組番号37】	1 空家情報の共有化	空き情報の共有化の 実施	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	○
			実績	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理		
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成		
			目標							
			実績							
			達成状況							
			目標							
			実績							
			達成状況							
			目標							
			実績							
			達成状況							

施策の方向	Ⅱ-4-26-(1)総合的な住宅施策の推進
-------	-----------------------

6 各事務事業に対する事業費

予算費目の事業名、補助金(細節)名	事業費										次年度の コスト方 向性	決算額増減の理由・改 善状況等	行政改革 大綱にお ける取組
	H28歳出(千円)		H29歳出(千円)		H30歳出(千円)		R01歳出(千円)		R02歳出(千円)				
	予算額 (うち一般財源)	決算額 (うち一般財源)	予算額 (うち一般財源)	決算額 (うち一般財源)	予算額 (うち一般財源)	決算額 (うち一般財源)	予算額 (うち一般財源)	決算額 (うち一般財源)	予算額 (うち一般財源)	決算額 (うち一般財源)			
1 空き家対策事業 (01.08.01.02.020.03)							532	(532)	8,464	(82)	削減	事業主体が市から民間 事業者となったため	○
2 市単独事業費補助金 (01.08.01.02.020.88)							531	(531)	103	(103)	削減	対象となる申請がな かったため	
									400	(400)			
									0	(0)			

施策の方向	Ⅱ-4-26-(2)市営住宅の維持・管理
-------	----------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	公営住宅の整備に関して、三島市公共施設保全計画(個別施設計画)及び三島市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切な施設の維持管理を行い、引き続き南二日町C棟全面的改善工事及び各市営住宅の修繕を実施する。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	南二日町住宅C棟について、3DK32戸の既存住宅を1DKから3DKの34戸に改め、バリアフリー化を図り、共用部分にエレベーターを設置する全面的改善工事を引き続き行う。また、日の出町住宅及び山田住宅共用部照明LED化修繕、藤代住宅A棟昇降機基板部修繕、柳郷地住宅A棟及び中住宅のガス管改修修繕を実施する。 管理面については、居住安定のための供給戸数の確保、次入居者受け入れのためのリフォームの迅速化、住宅困窮者である入居待機者への早期斡旋、市営住宅の安定的な運営を図るための住宅使用料滞納額の徴収を積極的に行う。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	公営住宅の整備において、計画通り南二日町住宅C棟の全面的改善34戸を完成させた。また、日の出町住宅及び山田住宅共用部照明LED化修繕、藤代住宅A棟昇降機基板部修繕、柳郷地住宅A棟及び中住宅のガス管改修修繕についても計画通り実施した。 入居待機者への早期斡旋及び住宅使用料滞納者への催告を積極的に実施した。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	公営住宅の整備に関して、三島市公共施設保全計画(個別施設計画)と、令和3年度から10年間の計画期間で新たに策定した三島市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切な施設の維持管理を行い、藤代住宅の建替工事及び各市営住宅の修繕を実施する。工事が円滑に実施できるよう、入居者への周知啓発や安全対策を徹底する。管理面については、供給戸数の確保、退去者に伴うリフォーム、入居待機者への斡旋、住宅使用料の滞納整理を適正に行う。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績						今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組
			年度	H28	H29	H30	R01	R02		
1 公営住宅整備事業	1 型別供給を図るための改善	型別供給を図った住戸数	目標	0戸(H29債務)	34戸	34戸	0戸(H32債務)	34戸	維持	
			実績	0戸	34戸	34戸	-	34戸		
			達成状況	未実施	達成	達成		達成		
	2 バリアフリー化を図るための改善	エレベーターの設置や、住戸内の改善を図った住戸数	目標	0戸(H29債務)	34戸	34戸	0戸(H32債務)	34戸	維持	
			実績	0戸	34戸	34戸	-	34戸		
			達成状況	未実施	達成	達成		達成		
2 公営住宅補修事業	1 外壁等の改修	外壁等の改修を図った住戸数	目標	24戸	24戸	-	-	-	休止	H29から施設管理計画の見直しによる
			実績	24戸	0戸	-	-	-		
			達成状況	達成	未実施					
	2 給排水設備の改修	給排水設備の改修を図った住戸数	目標	72戸	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	72戸	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理		
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成		
	3 住戸内の改善	住戸内の改善を図った住戸数	目標	3戸	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	3戸	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理		
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成		
3 公営住宅管理事業	1 市営住宅の供給	供給戸数	目標	728戸	728戸	728戸	728戸	728戸	維持	
			実績	728戸	730戸	732戸	732	734戸		
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成		
	2 リフォーム等緊急修繕の実施	修繕件数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理		
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成		
	3 入居待機者への住宅斡旋	入居者数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	40戸	26戸	33戸	33戸	63戸		
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成		
	4 住宅使用料の滞納整理	催告件数(電話及び訪問含む。)	目標	150件	150件	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	146件	266件	188件	259件	193件		
			達成状況	未達成	達成	達成	達成	達成		

施策の方向	Ⅱ-4-26-(3)高齢者・子育て世帯への住宅支援
-------	---------------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	住宅の耐久性及び安全性を高め、子育て世帯等の住環境の改善を図るため、「移住・子育てリフォーム事業」を実施していく。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「移住・子育てリフォーム事業」の周知を積極的に行う。 ・令和2年度をもって現在の補助金交付要綱が期限を迎えることから、令和3年度以降の事業の方向性について検討し、事業内容の見直しを行っていく。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページなどで事業の周知を積極的に行った結果、県外からの移住タイプ8件、子育て世帯タイプ76件(併用)、合計77件に対し補助金を交付し、移住促進、良好な住宅ストックの形成の一助となった。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の定住促進に向け事業を継続していく。 ・令和3年度以降は市内事業者によるリフォームについて上乗せする制度とし、良好な住宅ストックの形成と市内経済の活性化へ寄与する内容に変更する。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組		
			年度	H28	H29	H30	R01			R02	
1 移住・子育てリ フォーム事業	1 移住・子育てリフォー ム事業費補助金の交 付	移住・子育てリフォー ム事業によって改善し た住宅戸数	目標	26戸	26戸	26戸	26戸	26戸	維持	若い世代の定住促進に向け 継続して事業を続けていく。	
			実績	48戸	49戸	71戸	76戸	77戸			
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成			
			目標								
			実績								
			達成状況								
			目標								
			実績								
			達成状況								
			目標								
			実績								
			達成状況								

施策の方向	II-4-26-(4)住宅取得や住宅管理における安心確保
-------	------------------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	中古一戸建て住宅の流通の促進を図り、移住希望者への利活用を進めるため、「三島ぐらし住宅支援事業」を実施していく。また、若い世帯の移住の促進を図るため、「住むなら三島移住サポート事業」並びに「移住・子育てリフォーム事業」を実施していく。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	【75 『すむ』まち三島プロジェクトの実施】 人口減少が進む中で、30年後には、市内人口が約20%減少すると予測されており、健全な財政基盤を維持していくためにも、これを抑制していく必要がある。そのため、三島市への移住・定住を促進し、人口減少の抑制を図っていくため、「三島ぐらし住宅支援事業」、「住むなら三島移住サポート事業」並びに「移住・子育てリフォーム事業」を実施していく。

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業の周知を積極的に行う。 ・「住むなら三島移住サポート事業」については、令和2年度をもって現在の補助金交付要綱の期限を迎えることから、令和3年度以降の事業の方向性について検討し、事業内容の見直しを行っていく。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	一戸建て中古住宅の住宅診断(インスペクション)の結果を市が管理するホームページ等で紹介する取り組みによって、品質や性能に対する不安を解消し、中古住宅の流通を図り、三島市への移住を促進する。また、市外から新たに三島市内に住宅を取得又は建設する若い世帯に対し、その取得に要する費用を助成する「住むなら三島移住サポート事業」と併せて、子育て世帯や県外移住者世帯に対し、リフォーム工事に要する費用を助成する「移住・子育てリフォーム事業」を実施し、三島市への移住・定住の促進を図る。

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページなどで積極的に各事業の周知を図った結果、住むなら三島移住サポート事業を通じ県外18世帯、県内36世帯の移住があった。 また、市内中古住宅のインスペクションを6件実施し、その結果を市ホームページにある「中古住宅情報サイト」に掲載した。加えて、移住・子育てリフォーム事業の実施により良好な住宅ストックの形成と移住促進、中古住宅の流通促進を総合的に進めた。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	新型コロナウイルス感染症の影響などにより、テレワーク等の働き方が進められた結果、地方への移住ニーズが高まっており、各事業の周知を進めた結果、令和2年度は140人の転入超過となった。

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も事業を継続することで転入者の増加を図っていく。 ・大幅な転出超過である東京等の県外からの移住を進めることを重点的に行うため、令和3年度以降の住むなら三島移住サポート事業については、県外からの移住者に対する補助額はこれまでと同額に据え置き、県内からの移住者に対する補助額を減額、子供の加算を廃止する。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	今後も事業を継続することで転入者の増加を図っていく。

5 業務計画

事業名	手段・業務内容	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組		
			年度	H28	H29	H30	R01			R02	
1 三島ぐらし住宅支 援事業 【行革取組番号 75】	1 住むなら三島中古住 宅情報サイトホーム ページの公開	住むなら三島中古住 宅情報サイトホーム ページのアクセス件数	目標	200件	10,000件	10,000件	10,000件	5,000件	拡大	情報コンテンツのPRや掲載 情報内容の拡大などを検討 していく	○
			実績	11,685件	9,956件	8,246件	5,875件	6,366件			
			達成状況	達成	未達成	達成	未達成	達成			
			目標								
			実績								
			達成状況								
			目標								
			実績								
			達成状況								

令和2年度 スケジュール表

所属部	計画まちづくり部	所属課	建築住宅課	正職員数	17人	その他職員数	3人	電話番号 (内線)	055-983-2639 (内線2434)
-----	----------	-----	-------	------	-----	--------	----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅱ 活力のある住みやすいまち	施策名	26 良質な住環境の形成<住環境>
	基本方針	4 都市機能の整ったまちづくり		

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	従事見込時間数	
													正職員	その他職員
空家等の情報の共有	空家等の情報把握及び共有												40H	
公営住宅整備事業	南二日町C棟工事							工事完了 R3.11予定					1120.8H	
公営住宅補修事業	藤代S、日の出町、梅名北、梅名西 火災警報器更新	見積合せ	修繕着手		修繕完了								88H	
公営住宅管理事業		市営住宅の供給・リフォーム等緊急修繕の実施、入居待機者への住宅斡旋、住宅使用料の滞納整理											1774.35H	1867.75H
移住・子育て・耐震リフォーム事業	国費申請	受付開始											290.54H	
三島ぐらし住宅支援事業	受付開始 国費申請												223.49H	
住むなら三島移住サポート事業	受付開始												793.39H	